

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所施設整備に必要な経費			担当部局庁	初等中等教育局	作成責任者						
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	特別支援教育課	特別支援教育課長 山田 泰造						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	中期目標(文部科学大臣指示) 中期計画(文部科学大臣認可)							
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特別支援教育に関する実際の、総合的な研究や特別支援教育関係職員に対する専門的、技術的な研修等を行う独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(以下「研究所」という。)の施設の充実を通じ、教員の専門性の向上や指導内容・方法等の改善を図ることにより、子供たち一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進に寄与する。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	研究所の設置する研究所施設の整備充実を図り、研究所が行う研究所施設の整備に要する経費に対して補助を行う。(補助率:定額) 中期計画における施設・設備に関する計画において実施事業を定めており、業務の実施状況、施設・設備の老朽度合い等を勘案して施設整備が行われる。 令和元年度も引き続き、崩落する危険性のある箇所について崩落防止のネットの設置、外壁の改修等緊急対策を実施した。 令和2年度は、老朽化した自動火災報知設備改修工事及び、引き続き、老朽化・塩害等により劣化した外壁の改修工事を行った。 令和3年度も引き続き、老朽化・塩害等により劣化した外壁の改修工事を行った。											
実施方法	補助											
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	40	令和2年度	0	令和3年度	34	令和4年度	-	令和5年度要求	78
		補正予算	30	-	79	-	-					
		前年度から繰越し	160	30	-	79	-					
		翌年度へ繰越し	▲ 30	0	▲ 79	-	-					
		予備費等	-	-	-	-	-					
		計	200	30	34	79	78					
	執行額	200	29	34	-	-						
	執行率(%)	100%	97%	100%	-	-						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	286%	#DIV/0!	30%	-	-						
	令和4・5年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由							
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所施設整備費補助金		-	78	要求額のうち「重要政策推進枠」:78百万円								
計		-	78									

活動内容 (アクティビティ)	研究施設の整備									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	研究施設の整備充実	研究所施設の整備件数	活動実績	件	4	2	1	-	-	
			当初見込み	件	4	2	1	2	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	施設整備に係った支出/整備件数			単位当たりコスト	百万円	50	15	34	39	
			計算式	百万円/件	200.6百万円/4件	30百万円/2件	34百万円/1件	78.5万円/2件		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 7 年度	
	独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価結果のうち、標準評価以上の評価を受けた項目の割合とする。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。 ※前年度実績は独法評価が確定する9月頃記載予定。	成果実績	%	100	100	-	-	-	
			目標値	%	100	100	100	-	100	
			達成度	%	100	100	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所における業務の実績に関する評価 ※令和3年度実績は独法評価が確定する9月頃記載可能になる予定。									
活動内容 (アクティビティ)	研修施設の整備									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	研究施設の整備充実	研究所施設の整備件数	活動実績	件	4	2	1	-	-	
			当初見込み	件	4	2	1	2	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	施設整備に係った支出/整備件数			単位当たりコスト	百万円	50	15	34	39	
			計算式	百万円/件	200.6百万円/4件	30百万円/2件	34百万円/1件	79万円/2件		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度	
	研究所運営委員会の行う外部評価において、全ての研究において高い評価(5段階評価で4以上)を得る。	5段階評価で4以上の評価を受けた割合。	成果実績	%	90.9	100	-	-	-	100
			目標値	%	100	100	100	-	100	
			達成度	%	90.9	100	-	-	-	100
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	中期目標 ※令和3年度に終了した研究課題はないため、令和3年度については該当なし。									
政策評価 政策 推進	政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり								
	推進	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-2_8.pdf							
		該当箇所	P.3							

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして設置され、特別支援教育に関する実際の・総合的な研究や特別支援教育関係職員に対する専門的・技術的な研修を行っており、これらの業務運営を円滑かつ効率的に実施するために施設整備が必要であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして設置され、特別支援教育に関する実際の・総合的な研究や特別支援教育関係職員に対する専門的・技術的な研修等を行っており、地方自治体、民間等に委ねることはできない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	中期計画の「施設・設備に関する計画」において、「研究活動、研修事業、情報普及活動業務の円滑な実施に必要な施設整備を進めるとともに、管理施設の長寿命化のための計画的な修繕・改修等を推進する。」としており、必要かつ優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	契約については、競争性のある契約は一般競争入札又は複数者による見積合わせにより実施し、コストの削減に努めている。また、入札公告をホームページへ掲載する際に、仕様書も併せて掲載することで、調達内容が分かりやすいようにし、より多くの者が入札に参加できるよう情報提供の環境を整えており、支出先の選定は、妥当である。新たに随意契約を締結する案件については、所内の内部統制推進室で会計規程との整合性等について、第三者的に点検を行っている。さらに、少額随意契約以外の契約案件については、監事及び有識者(公認会計士)からなる契約監視委員会において点検を行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	宿泊費について、受益者から応分の負担を求めており妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業の実施に当たって、一般競争入札等により経費の削減に努めており妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	中間段階での不要な支出はなく合理的なものとなっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費目・使途は事業目的に沿ったものとなっている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業の実施に当たって、十分な公告期間を確保した上で一般競争入札を実施しており、競争性の担保及びコストの削減に努めている。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に見合った実績となっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業の実施に当たって、十分な公告期間を確保した上で一般競争入札を実施しており、競争性の担保及びコストの削減に努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	老朽化等に対応した施設整備が行われ、良好な研究・研修環境を維持・確保している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	老朽化等に対応した施設整備により、良好な研究・研修環境が維持・確保され、十分に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	・同研究所に設置している契約監視委員会において、契約の点検・見直しを行うことで、競争性の確保、公平性、透明性を確保している。	
	改善の方向性	・競争性を確保するため、入札参加資格要件の緩和や公告期間の十分な確保などを徹底する。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業 善部内 改容	この事業は一者応札の改善について改善に向けた対策を講じているものの、依然として一者応札となったものがあることから、市場調査や更なる仕様の見直しなど実効性のある対策について検討が必要である。また、総じて単位当たりコストが上昇傾向にあるため、コスト削減に向けた取り組みについて検討が必要である。
------------------	---

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年 善度 を内 検に	必要な施設整備を整備規模の適正化やコスト削減に留意しつつ、引き続き計画的な実施に努める。 また、契約については、入札参加資格要件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性の確保に努める。
----------------------	---

備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	127			
平成24年度	134			
平成25年度	123			
平成26年度	126			
平成27年度	121			
平成28年度	118			
平成29年度	123			
平成30年度	125			
令和元年度	文部科学省 - 0119			
令和2年度	文部科学省 0119			
令和3年度	2021 文科 20 0124			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
34百万円

【補助金等交付】

A. 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
34百万円
中期計画における施設・設備に関する計画において実施事業を定めており、業務の実施状況、施設・設備の老朽度合い等を勘案して施設整備を行う。

【一般競争入札
(最低価格)等】

B. 東研修員宿泊棟他外壁改修工事業務
民間企業等
2社
34百万円
経年による外壁の劣化進行しており、壁面等からの浸水によるコンクリート内部の鉄筋の錆びによる強度低下しているため、壁面等の崩落の可能性がある。施設の利用者及び職員の安全確保のため、外壁等の改修を行い、安全な環境のもとで特別支援教育に関する实际的・総合的な研究や各都道府県の指導的な立場にある特別支援教育関係教職員に対する専門的、技術的な研修を推進していくものである。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と用途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A. 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所			B. 株式会社ヨコソー		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費補助金	東研修員宿泊棟他外壁改修工事業務	34	各所修繕費	東研修員宿泊棟他外壁改修工事	24
計		34	計		24

